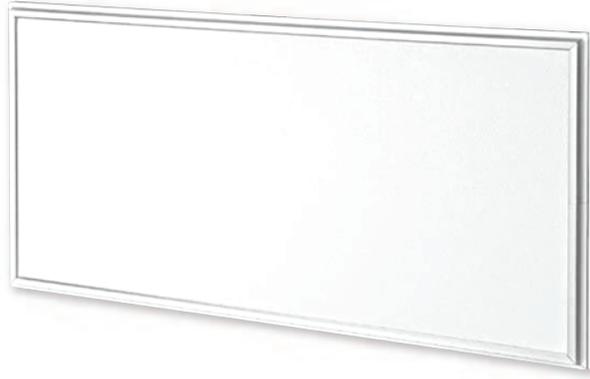


■防音パネル



●ビルガード SX

特長

軽量

防音性能とパネル強度をさらに高め、構成部材の見直しによる軽量化を実現しました。

安全

段付きアルミフレームのため荷崩れしません。

コスト

段付きアルミフレーム構造のため、従来品の2倍の枚数が運搬でき、輸送コストが従来の1/2です。
(10t平車で1000枚のパネルが積載可能です。)

スペース

ストックヤードのスペースも約50%の省スペース化を図れます。
(例)従来1000坪のヤード面積で使用していた場合、半分の500坪で済みます。

CO₂排出量削減

運送効率が従来の半分で済むため、CO₂排出量も軽減できます。

美観性 互換性

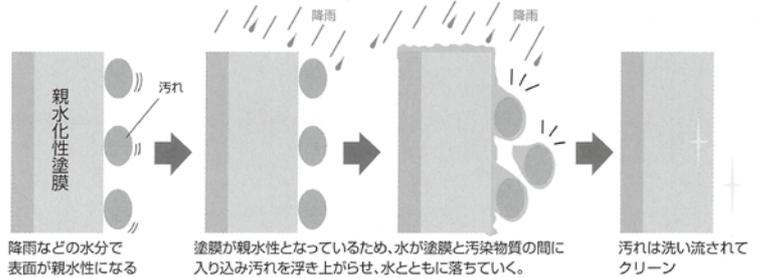
セルフクリーニング機能付塗装を施していますので雨水で汚れが落ち易く、使用後の洗浄が容易です。また、雨水がたまりにくいフレーム形状になっていますので雨筋汚れが軽減されます。従来のSB仕様とは表面意匠が同等ですので施工時での互換性があります。

■親水性の作用で発現する「セルフクリーニング機能」による新しい塗装仕様

アルミ樹脂積層複合板表面の通常のポリエステル樹脂系塗料に親水化剤を添加し、効率的な親水性塗膜を実現しました。アルミ樹脂積層複合板の表面が雨水などによって親水化し「セルフクリーニング機能」が発現します。

※「セルフクリーニング」とは塗膜表面の親水性の作用により雨水で表面の汚れを洗い流す事です。

セルフクリーニング機能イメージ



防音パネルの認定基準 (一社)仮設工業会

この基準は、主として建築工事現場において、鋼管足場などの仮設構造物の外構面に設け、工事騒音の外部への伝播防止及びボルト等の外部への飛来防止のため用いられる防音パネルについて適用する。

防音パネル試験基準

1 強度試験

① 曲げ強度試験

平均値	最小値
320kgf以上 (3.14kN以上)	290kgf以上 (2.85kN以上)

② 落下試験

落下体である鋼管が供試防音パネルを貫通しないこと

2 防災性能

防音パネルは、消防法(昭和23年7月24日法律第186号)第8条の3に定める防災性能を有するものとする

3 防音性能

1. 防音パネルは、次の表の音響性能を有するものとする。

周波数 (Hz)	音響透過損失 (dB)
500	18以上
1000	23以上

2. 上記の音響性能の試験は、日本工業規格A1416(実験室における音響透過損失測定法)に定める方法により公共の機関その他協会が定めた機関で行なうものとする。

ビルガードSX試験結果

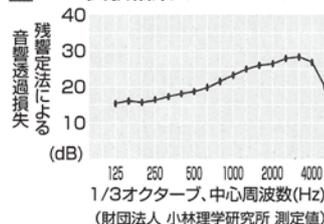
供試体NO.	1	2	3	平均値
強度 kN	5以上	5以上	5以上	5以上
認定基準による最小値	2.85kN以上			3.14kN以上
供試体NO.	1	2	3	
貫通の有無	無	無	無	

2 防災性能試験 (一般社団法人 仮設工業会)

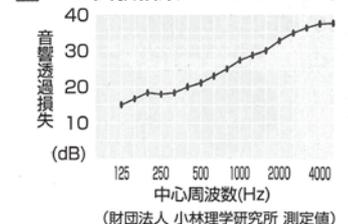
消防法施工規則第8条の3の基準 **合格**

3 音響透過損失試験結果

■ SX4試験結果 (防音パネル)



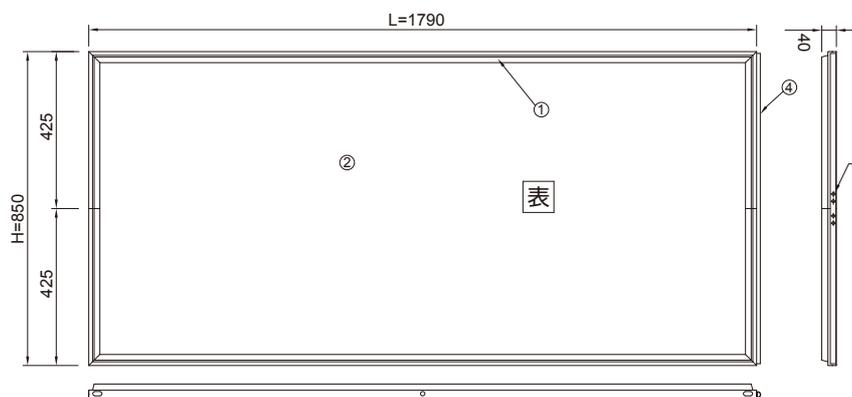
■ SX3試験結果 (採光防音パネル)



■防音パネル 構造と寸法

各種構成素材の特性を生かした高性能防音パネル

表面②のアルミ複合遮音板には軽量、フラットネス、剛性、遮音性という優れた特性を持つ、アルミニウム・プラスチック積層複合材を使用しています。

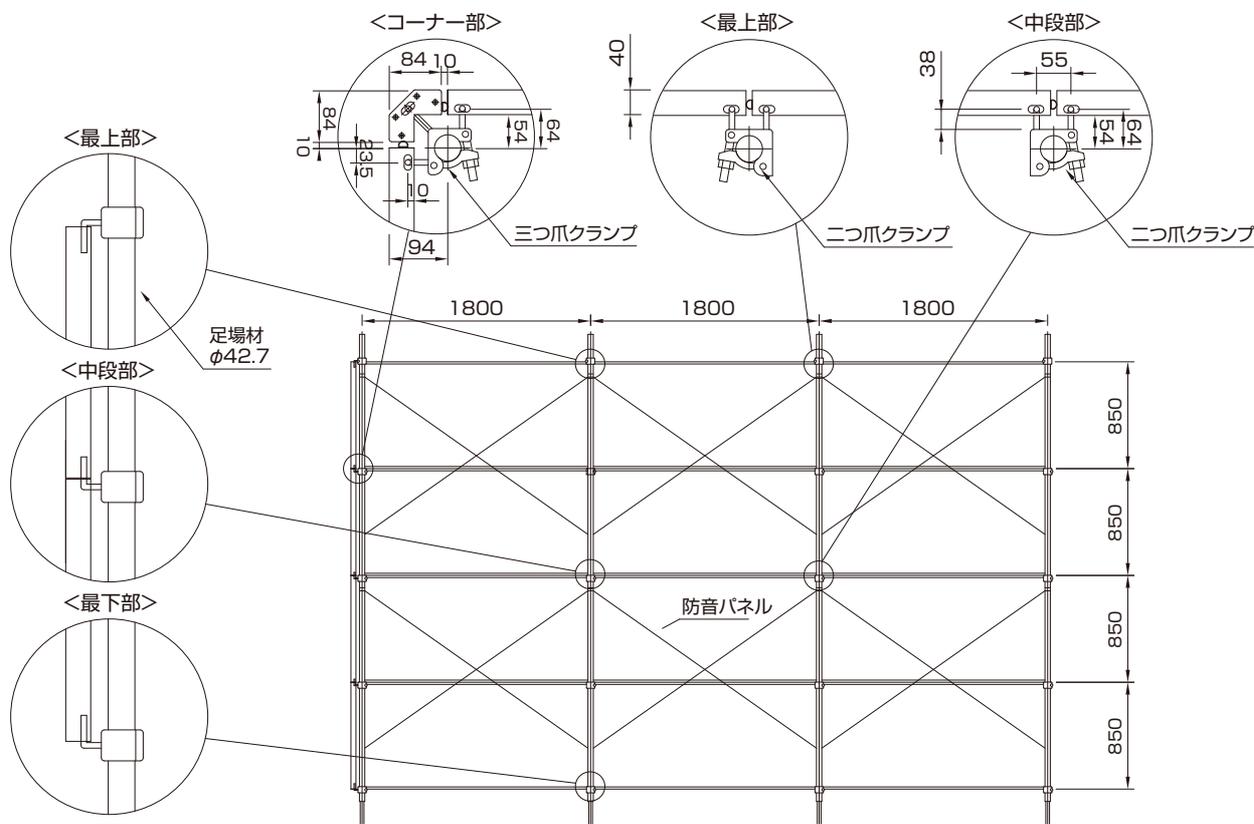


品番	T(mm)	メーター			
		L	H	重量(kg)	
SX4 (防音パネル)	18 (23)	SX4-18 M	1790	850	9.8
		SX4-15 M	1490	850	
	12 (23)	SX4-12 M	1190	850	6.9
		SX4-09 M	890	850	
	06 (23)	SX4-06 M	590	850	4.1
		コーナ	SX4-C M	115	
SX3 (採光防音パネル)	18 (23)	SX3-18 M	1790	850	10.4

サイズ 足場モジュールに合わせて各種サイズを揃えフレキシブルに対応いたします。

※T欄 () 内寸法は段付部分

●防音パネル取付け図



※ 使用枠足場およびクランプはメーカーにより若干寸法が変わります。手配先に確認ください。